

2020年11月12日

各位

会社名 株式会社リベルタ  
代表者名 代表取締役社長 佐藤 透  
(コード番号:4935 東証JASDAQ)  
問合せ先 取締役 管理部部長 二田 俊作  
(TEL. 03-5489-7670)

### 2020年12月期の業績予想について

2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)における当社グループの業績予想は、次のとおりであります。

【連結】

(単位:百万円、%)

項目	決算期	2020年12月期 (予想)		2020年12月期 第3四半期累計期間 (実績)		2019年12月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率	対売上 高比率	対売上 高比率		
売上高	4,900	100.0	16.6	3,670	100.0	4,203	100.0
営業利益	263	5.4	96.8	270	7.4	134	3.2
経常利益	222	4.6	88.9	259	7.1	118	2.8
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	116	2.4	61.7	163	4.5	72	1.7
1株当たり当期(四半 期)純利益	44円60銭		62円64銭		31円13銭		
1株当たり配当金	未定(注)3		-		3円00銭		

(注)1. 2019年12月期(実績)及び2020年12月期第3四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出し、2020年12月期(予想)の1株当たり当期純利益は公募予定株式数(300,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

2. 2020年12月期(予想)数値は、2020年8月までの実績を踏まえ、2020年9月に予想したのになります。

3. 当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと認識しております。2020年12月期(予想)については配当を予定しておりますが、具体的な配当金については現時点では未定であります。

ご注意:

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2020年11月12日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

【業績予想に係る定性的情報について】

1. 当社グループ全体の見通し

当社グループは、自社ブランドおよび他社ブランドを企画開発、生産(ファブレス)、プロモーション、販売、顧客リレーションまでの一貫した事業を行っており、取扱商品ジャンルはコスメ商品、トイレタリー商品、健康美容雑貨商品、機能衣料品、加工食品などとなっております。また、販路としては国内のみならず海外に対し直接貿易により60か国以上に輸出をしております。国内外ともに百貨店、専門店、ドラッグストア、ECへの卸売りのほか、直営店、EC等により直販も行っております。

ジャンル区分	主なブランド	内容・特徴
コスメ (ピーリングフットケア)	ベビーフットシリーズ	世界60か国以上に展開する化粧品。削らない角質ケア商品を主力商品としております。
コスメ(その他)	デンティス、QB、himecoto、他	長時間デオドラントクリーム、口臭予防ハミガキなど、美と健康に関わるニッチニーズに特化した多様な化粧品、医薬部外品等の商品を展開しております。
トイレタリー	カビダッシュ、カビトルネード、ママラククリーン他	浴室のカビ取りに特化した高機能洗剤、高機能洗濯槽クリーナー、実用性の高い家庭用洗剤類を展開しております。
機能衣料	FREEZE TECH、HeatMaster、他	猛暑や厳冬など過酷な環境での人々のライフスタイルを補助する様々なテクノロジーを活用した高い機能性を有する衣料を展開しております。
Watch	Luminox、Libenham、他	過酷な環境で真価を発揮するスイス製ミリタリーウォッチ「Luminox」や「自然と人」「人と時」「時と自然」をテーマとする「Libenham」などを展開しております。
健康美容雑貨	リキャップ、Thin Optics、Happy Ears、他	健康や美容の様々な悩みの解決や生活に役立つ雑貨類を展開しております。
加工食品	アスマール、他	アスリートのニッチニーズに特化した、いつでも手軽に安心安全で理想的な栄養摂取ができることを目的とした加工食品などを展開しております。
その他	アンパンマン知育玩具等他社商品、その他	他社仕入商品など。

当社グループが属する化粧品、日用雑貨、機能衣料、腕時計及び加工食品業界におきましては、2020年年初からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、緊急事態宣言と解除、その後のウイズコロナというライフスタイルの激変により消費者のニーズは安心、安全、衛生、健康へと向かい巣ごもり需要など消費者の購買行動も大きく変わり国内外において市場の変化が進んでおります。

このような事業環境のもと、当社グループは、ファブレスメーカーであることの強みである高い機動性を発揮し、市場の変化を先回りする新商品の企画開発やプロモーション、販売、顧客リレーション活動に取り組んでまいります。

業績見通しとしましては、コスメ・トイレタリージャンルにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影

ご注意:

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2020年11月12日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

響拡大によるインバウンド需要の大幅減少や在宅勤務の定着によりメイクアップコスメ系は需要が減少しておりますが、巣ごもり需要の増加などでフットケアコスメや家庭用掃除関連のトイレタリー商品などは順調に伸ばしております。また、Watchや機能衣料につきましては、新型コロナウイルス蔓延による外出自粛傾向が続き需要の減少が長期化するものと想定し策定しております。この結果、2020年12月期の当社グループの売上高は4,900百万円(前期比16.6%増)を見込んでおります。営業利益は263百万円(前期比96.8%増)、経常利益は222百万円(前期比88.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は116百万円(前期比61.7%増)を見込んでおります。

なお、2020年12月期第3四半期の当社グループの売上高は3,670百万円、営業利益は270百万円、経常利益は259百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は163百万円となりました。

## 2. 業績予想の前提条件

### (1) 売上高

既存商品については、主要商品ごとに販路別(得意先別)に当連結会計年度8月までの実績(導入店舗数、店舗当たりの販売数・売上高)と前年同期の実績(導入店舗数、店舗当たりの販売数・売上高)、計画されているプロモーション施策、得意先との商談状況を勘案し販売計画数を積算し、これを得意先ごとの販売単価を乗じて予測売上高を算出しております。新商品については、計画されている発売時期、導入予定店舗への初回導入数量、月別のリピート数量をこれまでの自社ブランドの同カテゴリー商品の販売実績、他社類似商品の実績などを考慮し販売計画数を積算し、得意先ごとの販売単価を乗じて予想売上高を算出しております。

通期の見込みにつきましては、主力のコスメ(ピーリングフットケア)ジャンルが前連結会計年度において米国にて発生した当社グループ商品の模倣品販売を排除できたことやコロナ禍における巣ごもり需要により大きく伸ばしたことにより1,198百万円(前期比20.0%増)を見込んでおります。トイレタリージャンルはカピトルネードがホームセンターからドラッグストアへと拡販が進み好調に推移したことで、1,425百万円(前期比125.1%増)と見込んでおります。機能衣料ジャンルは、FREEZE TECHがウイズコロナというライフスタイルの変化に合わせ夏用の冷感マスクとして急遽発売しました「FREEZE TECH氷撃エチケットマスク」がヒットし613百万円(前期比39.4%増)、加工食品ジャンルはコンビニエンスストアを中心にアスミールの導入が進み23百万円(前期比217.0%増)を見込んでおります。一方、コロナ禍でのテレワークの浸透によりコスメ(その他)ジャンルのメイクアップ系コスメが低調となり1,150百万円(前期比20.4%減)、Watchジャンルにつきましては、緊急事態宣言下における休業の影響によりLuminoxWatch直営4店舗や卸販売先店舗の販売が低調となり283百万円(前期比32.9%減)、健康美容雑貨ジャンルは緊急事態宣言によるバラエティショップの休業等の影響を受け16百万円(前期比20.9%減)、その他ジャンルにつきましてはテレビショッピング向けの売上がオンエア回数の減少により189百万円(前期比

#### ご注意:

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2020年11月12日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積り、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

20.0%減)を見込んでおります。この結果、4,900百万円(前期比16.6%増)を計画しております。

2020年12月期第3四半期累計期間においては、売上高はトイレタリージャンルのカピトルネードが売上好調により3,670百万円となりました。

## (2) 売上原価、売上総利益

売上原価は、当連結会計年度8月までの実績をベースに算出し、売上原価率を販路別(得意先別)、商品別の売上高に乗じることにより算出しております。また、商品除却損、商品評価損は、当連結会計年度8月までの実績および前年までの実績、商品消費期限、商品毎の回転率より予測し算出しております。通期の見込みといたしましては、売上高の増加に伴い売上原価も増加し、売上原価は2,773百万円(前期比22.7%増)、売上総利益は2,127百万円(前期比9.5%増)と計画しております。

2020年12月期第3四半期累計期間は売上高の増加に伴い、売上原価は2,051百万円、売上総利益は1,619百万円となりました。

## (3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、主に人件費、広告販促費(広告宣伝費、販売促進費および販売手数料)、物流費、その他の経費で構成されております。人件費は、当連結会計年度8月までの実績に今後の採用計画を加味し算出しております。広告販促費は、当連結会計年度8月までの実績にブランド別プロモーション計画、売上計画と連動した店頭販促計画にもとづき算出しております。物流費は、販路別に当連結会計年度8月までの実績と過去3年の売上高に対する物流費の比率に基づき算出しております。また、その他の経費につきましては、当連結会計年度8月までの実績と前期の実績をもとに、具体的な増加、減少が見込まれる項目(例:新規上場に伴う費用の増加)などについて勘定科目別に積み上げて算出しております。通期の見込みといたしましては、人員増員に伴う人件費の増加(前期比1.2%増)、トイレタリージャンルのカピトルネードがホームセンターからドラッグストアへ拡販が進んだことに伴う広告販促費の増加(前期比15.3%増)、売上の伸長に伴う運賃や倉庫料などの物流費の増加(前期比15.2%増)により販売費及び一般管理費は1,862百万円(前期比3.0%増)となり営業利益は263百万円(前期比96.8%増)を見込んでおります。

2020年12月期第3四半期累計期間実績における営業利益は270百万円となりました。なお第4四半期は、新規上場に伴う費用及びホームページリニューアル等による広告宣伝費の費用増加が想定されることから営業利益は第3四半期より7百万円減少する見込みとなります。

## (4) 営業外損益、経常利益

営業外損益は、個別に予定されている事案及び過去実績に基づき算出しており、2020年12月期につ

### ご注意:

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2020年11月12日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

いては、主に営業外収益として助成金収入等11百万円、営業外費用として新規上場に伴う費用22百万円、支払利息等13百万円、為替差損16百万円を見込んでいます。その結果、2020年12月期第3四半期累計期間実績における経常利益は259百万円となり、通期の経常利益は222百万円(前期比88.9%増)を見込んでおります。

#### (5)特別損益、当期純利益

特別損益は、個別に予定されている事案に基づき算出しており、2020年12月期第3四半期累計期間実績において該当取引はございませんでしたが、第4四半期は、賃貸しておりましたサテライトオフィスの退去に伴う原状回復工事費用などの特別損失が3百万円発生する見込みとなっております。2020年12月期第3四半期累計期間実績における親会社に帰属する四半期純利益は163百万円となり、通期の親会社に帰属する当期純利益は116百万円(前期比61.7%増)を見込んでおります。

以上

#### ご注意:

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2020年11月12日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。